

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 永井好信宛濱野定四郎書翰  |
| Sub Title        |   |
| Author           | 河北, 展生(Kawakita, Nobuo)   |
| Publisher        | 三田史学会   |
| Publication year | 1952  |
| Jtitle           | 史学 Vol.25, No.4 (1952. 9) ,p.72(505)- 72(505)   |
| JaLC DOI         |   |
| Abstract         |   |
| Notes            | 餘白録   |
| Genre            | Journal Article   |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19520900-0072">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19520900-0072</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

註 (1) 例へば白井成允氏「十七條憲法と勝鬘經義疏との思想的連關」(「聖德太子全集」第一卷所收)或は、金子大榮師「日本佛教史觀」參照。

(2) 「維摩經義疏」卷下、文殊問疾品第五、五三頁、中段。

(3) 「勝鬘經義疏」嘆佛眞實功德章、二頁、中段。

(4) 「同」十大受章、三頁、下段。

(5) 「維摩經義疏」卷下二、觀衆生品第七、五七頁、中段。

(6) 「同」卷中一、弟子品第三、三五頁、中段。

(7) 岡田正之博士「近江奈良朝の漢文學」參照。

(8) 「大日本史贊藪」卷二、列傳皇子贊。

### 永井好信宛濱野定四郎書翰

二二頁の福澤書翰にある濱野は塾長濱野定四郎で、入社在塾生數を記したり、福澤一太郎捨次郎兩氏の渡米出航日を明らかにするなど極めて興味ある書翰である。

○比日より毎度御文通被下奉謝候

此方よりも甚御無音御海容可被下候義塾も昨年は殊之外入社多く全年分合して三百九十三名生徒現員も和田之幼稚生百名許を合し都合五百三四十名も在之實に開塾以來之人數なりそれにて時事新報も日に月に評判よろしく日増世間に博まり御同様欣喜之義に御座候先は御無念御詫上申早々頓首

明治十六年一月十日

永井好信様侍史

濱野定四郎

○尊書拜誦時下益御清祥御盡力奉恭賀候次に先生始小生まで一統無事乍憚御放念可被下候

塾も昨年來近々生徒之數増加致し益隆盛之姿御同慶之義なり維持金御回送正に落掌爲念別紙さし上置候

福澤市捨兩君米國留學之且立にて丁度本日出航只今小生も濱

より返り候處に御座候

御地サケ之獵も本年は平常之景氣にてサケ之獵は怪からず面白ものと承り居り候定て御旅寓發散之一片に相成候事と存候

四月迄之勤怠表と共に義塾紀事一冊さし出し置候是は時事新報にも掲載いたし事ゆへ御覽之事とは存候へとも序に付右之

如し、右は貴報旁早々頓首

明治十六年六月十二日

永井好信様

濱野定四郎

(河北展生記)